

・その他の歯の疾患



・軟組織の異常



9 学校歯科医所見・押印

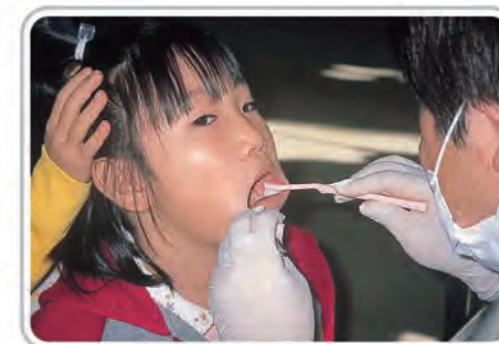
- ・記入済以外のその他の特記すべき事項 先欠・過剰歯の疑いで要レントゲン・CO要相談など
- ・月日

10 事後措置(学校においてとるべき事後措置)

- 措置なし… 特段の事後措置を要しない者
- 要指導… 学校における保健指導や健康相談等を行う者
- 要受診… 医療機関で精密検査・治療が必要な者

チェックリスト

- 健康診断の前に…
 - 学校関係者との打ち合わせ
次年度の学校保健安全計画が決まったら、学校歯科医に日程を報告して下さい。遅くとも1ヶ月前に健康診断日の日程、帯同者の数、記録者などについて打ち合わせを行って下さい。
 - 健康診断会場の整備
明るい場所で无影灯を使用するとよいでしょう。記録者が学校歯科医の声を聞こえやすい机の配置にしたり、待っている児童生徒が歯科用パネルなどを見れるように工夫します。
 - 記録者
担任の先生が記録者になることで、クラスの口腔内の状況把握が可能となります。事前に記入方法等について、学校歯科医・養護教諭等に研修を受けるとスムーズに行なえます。
 - 検査器具とその消毒
当日健康診断に必要なミラー、探針、ピンセット等を用意しましょう。消毒方法は煮沸消毒、オートクレーブによる滅菌、適正な薬液消毒で行います。学校歯科医の使用する手指の消毒液やデンタルグローブも用意します。
 - 事前調査票
過去や現在の歯・口の状態や質疑などについて家庭で記入してもらい健康診断の参考にします。
- 健康診断の日…
 - 健康診断の前に歯みがき
健康診断当日は児童生徒に歯ブラシを持参させ、健康診断前に歯みがきをさせます。口の中がきれいになることで正確な判断ができ、時間も短縮されます。
 - 当日の保健学習・指導
健康診断当日の保健学習や保健指導は児童生徒に緊張感が生まれ、又意識の高揚もあるため効果的です。
 - 歯ブラシの有効利用
持参した歯ブラシを学校歯科医が使用することで正確な判断が可能になります。宮城方式として勤めています。
- 健康診断の後に…
 - 個別指導
養護教諭・クラス担任・学校歯科医・歯科衛生士などが行なう指導むし歯の多発、重度の歯肉炎、口腔衛生状態の不良、前年度より口腔内状況の悪化がみられる児童生徒などを対象に行なう。
 - 歯科相談
保護者や本人からの相談に対し、学校歯科医や養護教諭が対応に応じます。健康診断時に事前調査票などをもとに本人に回答する場合もあります。
 - 統計
健康診断後、統計のとりまとめを行ない経年的に比較しましょう。宮学保研究収録別冊/歯・口の調査結果の分析と今後の課題を活用して下さい。
 - 学校保健委員会
健康診断結果等に関し、意見をうかがい、次年度の学校保健安全計画の参考にさせていただきます。



レベルアップⅣ

学校歯科健康診断パネル



制作 一般社団法人 宮城県歯科医師会 学校歯科部会

制作 一般社団法人 宮城県歯科医師会 学校歯科部会
 写真提供 宮城県歯科医師会 会員 (中條 幸一・山形 光孝・阿部 清一郎・江澤 庸博)
 仙台市立高森小学校・仙台市立中山中学校・仙台市立八本松小学校・登米市立柳津小学校・亶理町立亶理小学校
 歯・口腔の健康診断パネル ②, ⑤, ⑥ (日本学校歯科医会) より一部引用
 歯肉の状態から健康づくりを見直そう (公益財団法人 日本学校保健会) より一部引用

1 顎の検査

- 0... 異常なし
- 1... 要観察 開・閉口時に、下顎が左や右に偏位したり雑音（パキン、ザラザラなど）がでたりする。
- 2... 要精検 開・閉口時それ以外でも顎関節や咀嚼筋に痛みがある。2横指以下の開口障害がある。



顎の診査

顎の偏位



上の顎の正中に対し下の顎の正中が左側にずれる

開口障害の基準



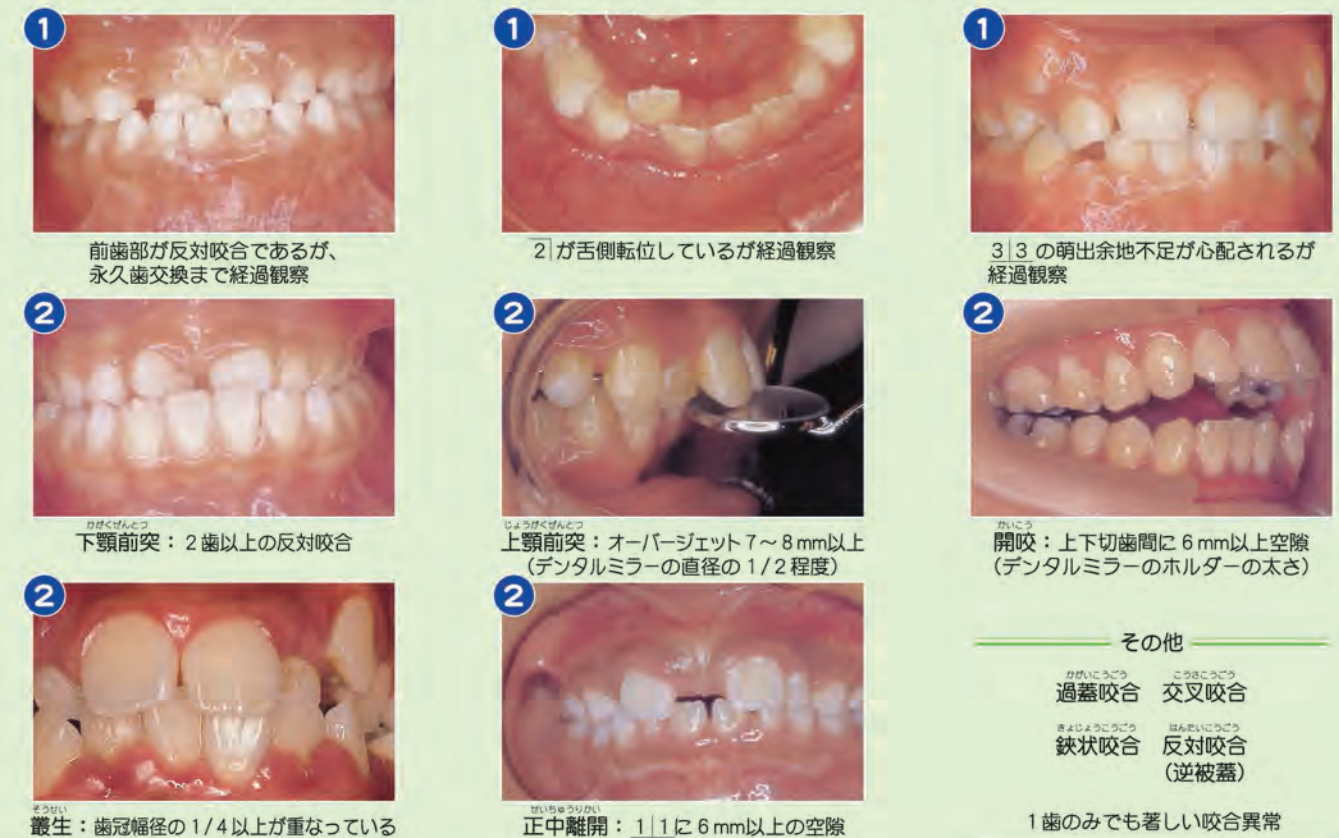
2横指以下: 2本の指が縦に入らない (3才~15才: 37mm以下、16才以上: 40mm以下)

インフォメーション 顎関節症

1, 2の症状を伴います。宮城県では他の学年に比較して中3、高3でその割合が高い値を示しました。このことは受験期の心身の疲労やストレスが関係していると考えられます。その他、うつぶせ寝、頬杖、爪かみなども原因とされているので、注意しましょう。

2 歯ならび・かみ合わせの検査

- 0... 異常なし
- 1... 要観察 軽度な不正咬合があって、定期的な観察が必要。
- 2... 要精検 かなり重度な不正咬合があって矯正治療を要する。本人・保護者から矯正治療の相談があり、専門的な診断が必要。



インフォメーション

デンタルミラーの直径...16mm
ホルダーの太さ...6mm

3 歯垢の検査

- 0... 良好 ほとんど歯垢の付着を認めない。
- 1... 若干の付着 歯面の1/3以下に歯垢の付着が認められ、刷掃指導を要する。
- 2... 相当の付着 歯面の1/3を越えて歯垢の付着が認められ、(萌出途中の歯牙に多量の歯垢の付着がみられる場合を含む) 刷掃指導や健康相談を行う必要がある。



ほとんど歯垢の付着がみられない 1/3以下の付着がみられる 1/3以上の付着がみられる 萌出途中の第1大臼歯咬合面に歯垢の付着がみられる

インフォメーション 歯垢(プラーク)

歯の表面や歯と歯の間などに、白いものがついていませんか？それが「歯垢」です。歯垢は、口の中で繁殖した細菌が、水にとけにくいネバネバした物質とともに、歯に付着してきたものです。いわば細菌のかたまりです。1mgの歯垢に、1億個以上の細菌が生息しています。

氏名	性別	男	女	生年月日	平成	年	月	日	5 歯式		6 歯の状態		7 歯の状態	8 その他の疾病及び異常	9 学校歯科医	10 事後措置
									乳歯	永久歯	現在歯数	未処置歯数				
例1 小学生									8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	GO	4月10日	指掌なし 要受診
例2 中学生									8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	先欠の疑い	4月21日	指掌なし 要受診	
例3 高校生									8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0		5月17日	指掌なし 要受診	

4 歯肉の検査

- 0... 異常なし
- 1... 要観察 歯垢の付着と軽度の歯肉炎が認められるが、歯石の付着はない。GO (歯肉炎+、歯石-) = 歯周疾患要観察者
- 2... 要精検 歯肉炎が認められ、歯垢・歯石の付着を伴う。歯周炎に進行している。G (歯肉炎土、歯石+)、P 歯周炎



5 歯式

- ・現在歯: 口腔内に歯が存在する場合には現在歯とする。健全歯は斜線か連続横線で消す。 B I X Z B \ X Z B 1 1 2
- ・むし歯: 処置歯 (O) ・修復が完了している。未処置歯 (C) ・治療を要するむし歯のある歯。治療中の歯
- ・喪失歯 (Δ): むし歯が原因で喪失した永久歯。(X): むし歯以外で喪失した永久歯。(外傷・矯正治療等)
- ・要注意乳歯 (X): 保存の適否を慎重に考慮する必要と認められる乳歯
- ・要観察歯 (CO): 初期むし歯を疑わせる永久歯。(主として視診で行い、健全歯として扱う)
- ・シーラント処置歯: 健全歯として扱う。(記号を使う場合は㊦を使用する)
- ・サハライド塗布歯: COに準ずるが、治療を要する場合はCとする。(記号を使う場合は㊧を使用する)



6 永久歯のむし歯の状態

- CO: 要観察歯 → 要観察歯があればOを付ける。
- 0: むし歯無し、もしくは治療済み
- 1: 軽度のむし歯 (C1、C2) → いずれかにOを付ける。
- 2: 重度のむし歯 (C3、C4) → 同一人に軽度、重度のむし歯がある場合は重度2の方にOを付ける。

インフォメーション スポーツドリンク

中学3年生 男子 柔道部
スポーツドリンクによるCOからC3に及び多発性のむし歯がみられます。飲み方に注意が必要です。この評価は2:重度のむし歯となります。

7 歯の状態(永久歯)

DMF 歯数の算出
D: 未処置歯 (C) M: 喪失歯 (Δ) F: 処置歯 (O)
1人平均DMF 歯数 = 受診者全員のDMF 歯の合計 / 受診者数 (本)
12歳児のDMF 歯数が統計上よく用いられる。
※12歳児とは中学1年生なので注意しましょう。

インフォメーション

12歳児DMF歯数(平成27年)
宮城県 1.21本
全国 0.90本
宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画
目標値: 1.0本以下(H28)